

H29 年度版 教科構想シート

国語科における主体的な学びとなる子どもの姿（1 学年⇒3 学年）

- | | |
|--|---|
| ①情報から必要な内容を取り出し、わかりやすくまとめようとする生徒 | ①情報から必要な内容を取り出し、わかりやすくまとめる生徒 |
| ②情報を比較・分類して整理し、自分の考えをまとめようとする生徒 | ②情報を比較・分類して整理し、自分の考えをまとめる生徒 |
| ③自分の考えを相手にわかりやすく伝え、他者との交流の中で自分の考えを深めたり広めたりしようとする生徒 | ③自分の考えを相手にわかりやすく伝え、他者との交流の中で自分の考えを深めたり広めたりできる生徒 |

教科における主体的な学びのための教師の捉える場面（●）とその手立て（○）

課題発見・解決学習	【課題の設定】 におけるポイント	●単元全体や各本時における目標につながる課題を見いだす場面 ○初発の感想や疑問をもとに、主体的に課題を設定させる。 ○言葉を手がかりに想像力を働かせ、作品世界のイメージを広げさせる。
	【情報の収集】 におけるポイント	●知識の習得場面において、必要な情報を取捨選択する場面 ○既知の情報を確認し、未知の情報を学ばせて、課題解決に必要な情報を取捨選択させる。
	【整理・分析】 におけるポイント	●文章や詩歌などを読んだり書いたり、また、聞いたり話したりする場面 ○比較・分類したり、図表にまとめたりさせる、あるいは、多面的な視野を持たせ、類推や関連づけをさせて情報を整理させる。
	【まとめ・創造・表現】 におけるポイント	●考えをまとめ、課題の解決策を創造し、他者に伝える場面 ○目的意識を明確にして文章、プレゼンテーション、新聞、メッセージカードなどの形にさせる。
	【実行】 におけるポイント	●他者の発表を受け止め自分の考えを深めたり広げたりする場面 ○相手意識を明確にして、文章、プレゼンテーション、新聞、メッセージカードなどの形にして、他者との交流を図らせる。
	【振り返り】 におけるポイント	●学びの変革を振りかえる場面 ○他者との交流の中で、得たり、深めたりした自分の考えを言葉で表現させる。
	【協同学習】 におけるポイント	●小グループを活用して、学びを深めさせたい場面。 ○課題についての話し合いの中で、思考力・表現力を高めさせる。

各教科における設定した資質・能力を育成するための手立て			頻度 ◎○△
資質・能力	資質・能力の定義	教科で育成するための手立て	
知識・技能	①学習したことを自ら語れる力 (知の構造化)	・まとめの学習の場面で、学んだことを感想文や意見文、新聞など様々な文章の形で表現させる。	◎
思考力・判断力・表現力	①根拠をもとに、正しい判断をする力 (論理的思考力)	・必ず本文の記述をもとにした根拠をつけて考えさせ、発言したり、書かせたりする。	◎
	②よりよい解決のため、いろいろな見方・考え方を持つ力 (批判的思考力)	・討論やティベートの授業を通して批判的思考力をつける。文学作品では、誰の視点から書かれているか意識させ、視点を変えた見方をさせてみる。初発の疑問を大切に、批判的な読み方をさせる。	◎
	③自分の考えを相手が納得できるように分かりやすく伝える力 (言語力)	・常に相手を意識した表現活動をさせる。	○
主体的に学ぶ力	①自ら課題を見だし、解決しようとする力	・作品を読んで初発の疑問から課題を発見し、解決の方法を自分たちで考えさせる。	○
他者とかわる力	①他者と協力(協働)し、課題を解決しようとする力	・小グループ学習でお互いの意見を交流し深めさせる。	○
	②他者とのかわりを通して、自らの考えを深めたり広げたりしようとする力	・小グループ学習、意見交流、ティスカッションなどの共同学習によって自分の考えを深め広げさせる。	◎
社会貢献力	①よりよい地域社会のために、何をすべきかを考え実行しようとする力	・環境問題や自然などに関わる説明的文章のまとめの学習の場面で自分がどう生きるか議論で深めさせる。	△
		・学習したことをもとに意見文やメッセージなどの形で自分の考えを他者へ発信させる。	△
自己形成力	①前向きにチャレンジし、より自律・自立した人間になろうとする力	・さまざまな作品を通して、自分の生き方を考えさせる。	△
	②自信を持つ力	・振り返りの場面での自己評価や教師や仲間による相互評価。	◎